

平成25年行政事業レビューシート

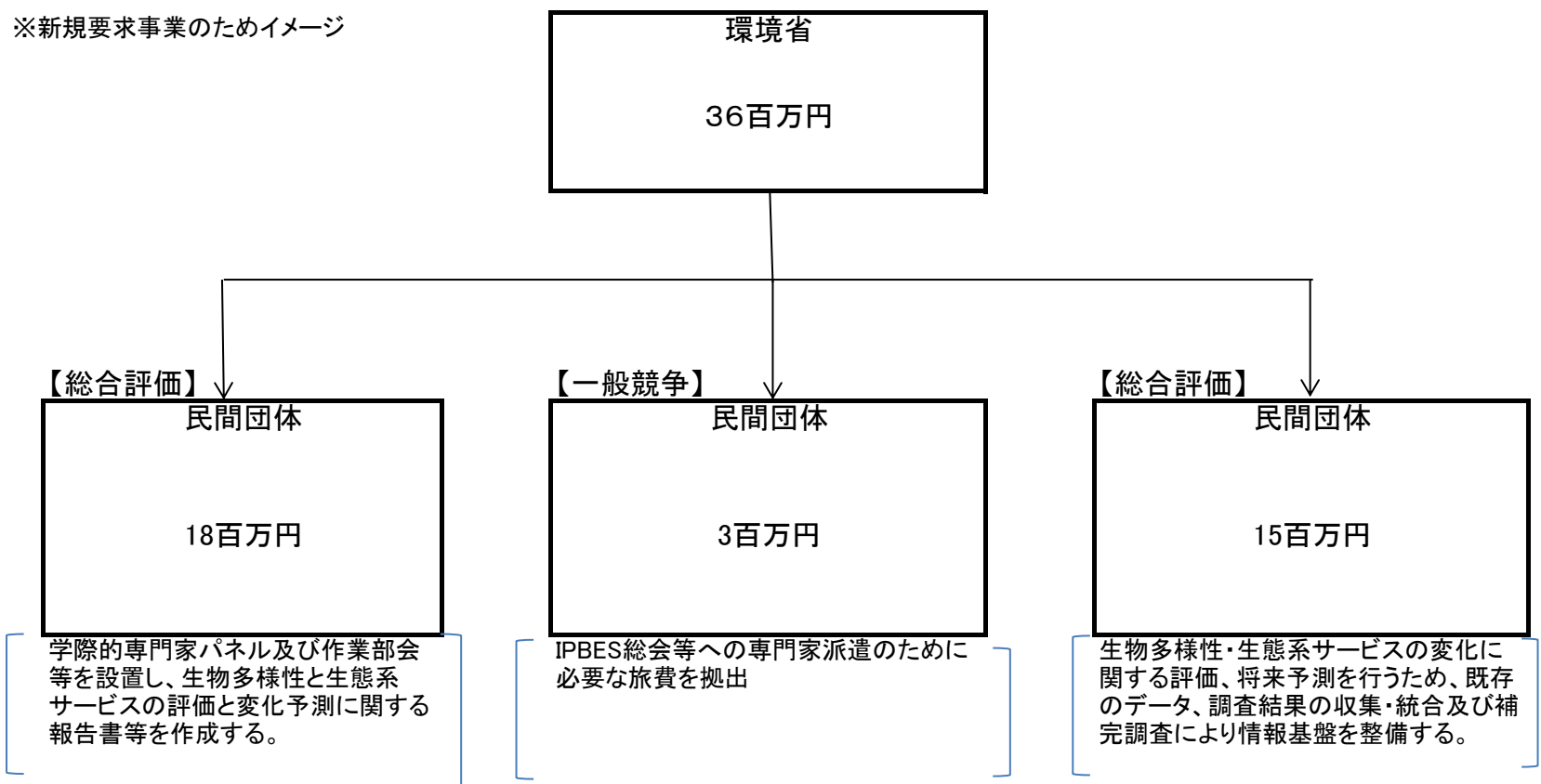
(環境省)

事業名	生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム推進費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室 生物多様性センター		室長 奥田 直久 センター長 中山 隆治	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	[1] 生物多様性国家戦略2012-2020			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム(IPBES)は、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間のプラットフォームとして、2012年4月に設立された。本枠組みに基づき、日本国内において新たにJPBES(日本版IPBES)を推進し、多領域(生態学、社会・経済学、コミュニティ・伝統的知識等)の知見から、生物多様性と生態系サービスの評価・予測を行い、政策立案に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	[1] 自然科学、社会科学の専門家から構成する検討委員会を設置し、各種の情報基盤(社会・経済的変動予測、温暖化の評価・予測等)を活用して、生物多様性・生態系サービスの評価・予測を行う。 [2] 社会・経済的状況の動向を踏まえ、既存の観測データ、調査結果を収集・統合し、生物多様性・生態系サービスに資する情報基盤を整備する。 [3] 生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム(IPBES)、地球規模生物多様性情報機構(GBIF)の会議へ専門家を派遣し、評価・予測の進捗や成果を公表する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	-	-	-	36	30
		補正予算	-	-	-	0	
		繰越し等	-	-	-	0	
	計	-	-	-	36	30	
	執行額	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	生物多様性と生態系サービスの評価・予測を行い、政策立案に資する事業であり、定量的な数値目標の設定は困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	生物多様性と生態系サービスの評価・予測を行い、政策立案に資する事業であり、定量的な活動指標の設定は困難。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	(- 千円/件)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	36	30	一部業務の効率化に伴う減。			
	計	36	30				

事業所管部局による点検					
	項目			評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	生物多様性の保全に関わる事業であり、その影響は直接国民に及ぶ。本事業は、政府レベルの国際的業務であり、国が実施すべき。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先は総合評価を経て選定を行う。本事業の受益者は生物多様性、生態系サービスを受ける国民一般であり、特定の受益者は存在しない。
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	総合評価で支出先の選定を行うため、効果的かつ効率的に実施できる。一方で活動実績や成果物の活用は新規事業であるため現時点で評価できない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	IPBESの活動は地域性が重視されており、アジア・太平洋地域における限られた先進国として、日本のリーダーシップが求められている。生物多様性と生態系サービスの評価・予測や情報基盤の整備を先導的に推進し、我が国、及び諸外国の政策立案に資するために必要な経費である。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-011

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※新規要求事業のためイメージ



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)